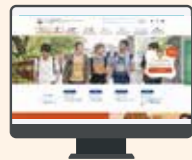


骨髄バンク事業について知りましょう！

日本では「骨髄バンク事業」が1992年から開始され、これまでに多くの患者さんを救う実績をあげています。しかし、日本の骨髄バンクで骨髄移植や末梢血幹細胞移植を必要とする患者さんは、毎年少なくとも2,000人以上増加しています。1人でも多くの患者さんを救うためには、1人でも多くのドナー登録が必要です。

ドナーを待つ患者さんにとっては、多くの人のドナー登録が、大きな希望になります。詳しくは、「公益財団法人日本骨髄バンク」のホームページをご覧ください。



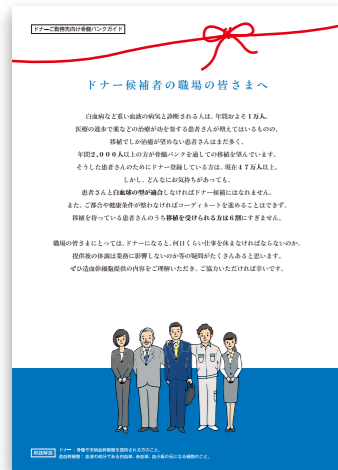
公益財団法人 日本骨髄バンク

<https://www.jmdp.or.jp/>



また、ドナー登録をご検討の方は、骨髄・末梢血幹細胞をご提供いただくに当たっての関連事項に関する説明書として「ドナー登録のしおり(チャンス)」があります。骨髄バンクの概要、骨髄移植・末梢血幹細胞移植の基礎知識、ドナー登録の流れ等が掲載されていますので、ご参照ください。

会社(職場)に説明するには どうしたらいいの？



実際にドナー候補となった場合、休暇取得等のために企業に説明しなければならないケースが想定されますが、どのような流れで進むのか、何日くらい仕事を休まなければならないか、提供後の体調は業務に影響しないのか等、何も資料がない中での説明は難しいかもしれません。

「公益財団法人日本骨髄バンク」では、「ドナーご勤務先向け骨髄バンクガイド」として、ドナー候補者の職場の理解を得るための資料を用意しています。

是非、ご活用ください。



問い合わせ先

(厚生労働省委託事業機関) 株式会社日本能率協会総合研究所
〒105-0011 東京都港区芝公園三丁目1番22号
TEL: 03-3578-7575



今、ドナー休暇が
求められています。

特に配慮を必要とする労働者に対する休暇制度

ドナー休暇制度

ドナー登録や提供時には、通院・入院・休養が必要になる場合もあります。そのため職場や社会が支える体制が不可欠です。安心して、確実に、ドナー提供者となるために「ドナー休暇制度」を導入しましょう。

骨髄ドナーの現状をご存知ですか？

骨髄移植や末梢血幹細胞移植は、白血病や再生不良性貧血などの病気によって、正常な造血が行われなくなってしまった患者さんの造血幹細胞を、健康な方の造血幹細胞と入れ替える（実際はドナーから採取された造血幹細胞を点滴静注する）ことにより、造血機能を回復させる治療法です。

骨髄ドナーの現状

ドナー登録者数は、近年では新規登録者が毎年3万人を超え、平成31年1月末現在の登録者数は48万人を突破

一方、移植を待っている患者さんも、平成30年11月末現在、全国で49万人を超えている。そのうち移植を受けられるのは約6割に過ぎない

せっかく適合しても初期段階でコーディネイト^{*}が終了することが多い

^{*}「コーディネイト」とは、ドナー候補者となってから、骨髄または末梢血幹細胞の提供に至り、フォロー終了までの調整のことをいいます。

非血縁者間移植実施は、近年、1000件を超えており、提供者として、働き盛りの30代男性が選ばれることが多い

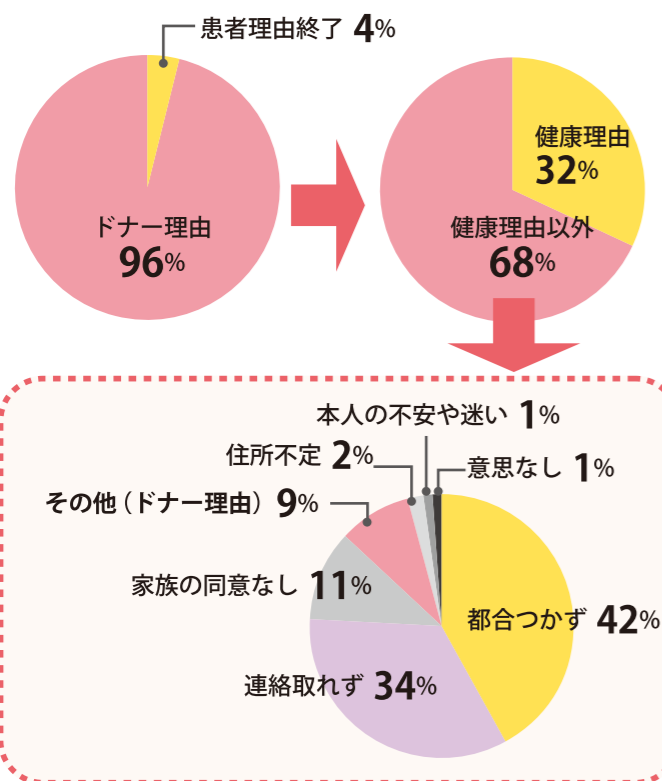
初期段階にコーディネイトが終了する理由は、「健康理由以外」が68%にも及び、その内訳をみると「都合がつかず」が42%で最も多く、「連絡とれず」、「家族の同意なし」が続いています。会社や家族の理解を得ることが課題となっています。

また、実際に提供者として選ばれるのは、働き盛りの30代男性が多くなっており、このことから会社の理解を得ることが重要となっています。

終了別理由件数

2017年度実績

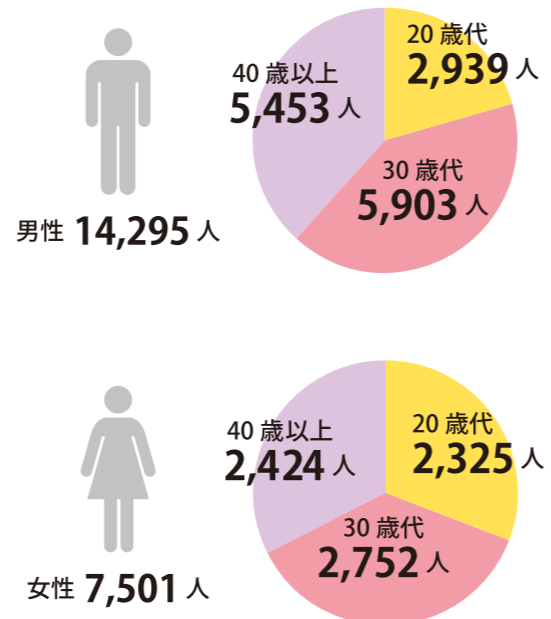
出典：日本骨髄バンク News Vol.52



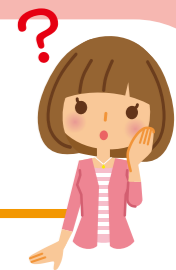
提供者の年代

2018年3月末現在

出典：日本骨髄バンク News Vol.52



なぜドナー休暇制度が必要なの？



骨髄バンクを介して骨髄・末梢血幹細胞提供をする場合、患者さんと適合してから採取後の健康診断に至るまでに、8回前後、平日の日中に医療機関に出向くことが必要になります。

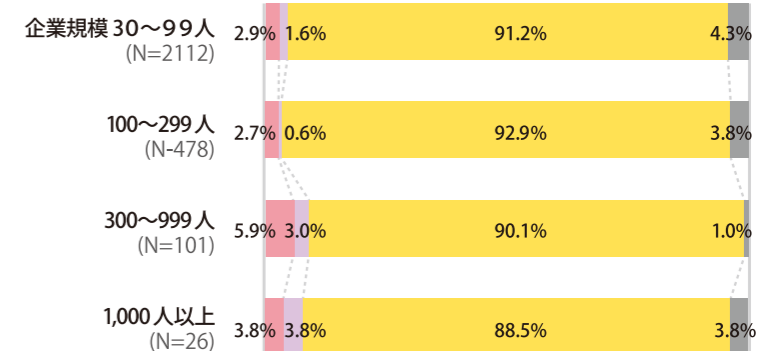
その日数を、ドナー自身の年次有給休暇を使うのではなく、企業がその休日を特別休暇として認めるのが「ドナー休暇制度」です。勤務先に「ドナー休暇制度」があることは、ドナーの心理的・肉体的な負担の軽減になります。

企業・団体によっては「ドナー休暇制度」を導入しています（公務員にはドナー休暇制度が認められています）。これまで日本骨髄バンクで確認が取れているドナー休暇制度導入企業・団体は347社です（ボランティア休暇などを活用している企業・団体を含みます）。

企業におけるドナー休暇の導入状況

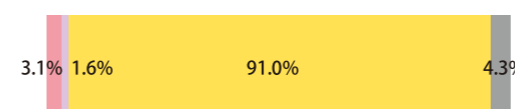


●ドナー休暇の導入状況（企業規模別）



●ドナー休暇の導入状況

骨髄提供に関わる検査や入院のために利用できる特別休暇（ドナー休暇など）



出典：平成29年度「仕事と生活の調和」実現及び特別な休暇制度の普及促進に関する意識調査

ドナー休暇制度導入企業として掲載しませんか？

ドナー休暇制度導入の普及促進を行っている下記の団体では、ドナー休暇制度を導入している企業の一覧をリンク付きで掲載しています。掲載費用は一切かかりませんので、ドナー休暇制度を導入されている企業、もしくはこれからドナー休暇制度を導入予定の企業は、こちらへの掲載もご検討ください。

団体名	サイト URL
公益財団法人日本骨髄バンク	https://www.jmdp.or.jp/help_us/support/post_81.htm
全国ドナー休暇制度推進連絡協議会	http://donorkyuka.org/members/